

本時の視点	友達の経験についてインタビューし、発表することによって、判断力・表現力の向上を目指す活動を行う。
-------	--

第3学年*組 外国語(英語)科 学習指導案

指導者 T1 橋本 妙子
T2 Fe (AET)

1 単元名 Unit 3 Fair Trade Chocolate (New Horizon English Course 3 東京書籍)

2 単元の目標

- これまで自分が経験してきた内容について、自分の意見や考えをもち、友達へのインタビュー活動を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 現在完了形(経験, 完了・結果)を使って、自他の経験したことについて話したり書いたりすることができる。(外国語表現の能力)
- 現在完了形(経験, 完了・結果)を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。(外国語理解の能力)
- フェアトレードやガーナの現状について理解することができる。(言語や文化についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、「チョコレートのフェアトレード」を主題とし、単元を通してガーナで暮らす人々の生活環境の実態や職の現状を見ることが出来る。また、チョコレートの原料であるカカオのフェアトレードの導入によってガーナに住む人々の生活環境がどのように変化、改善されていくかについて理解することができる内容である。フェアトレードの必要性や、途上国で有名ブランド企業の下請工場で過酷な労働を強いられている人々の現状が記された資料を使い、日本での生活と異なっている点をじっくり考えさせ、自分の考えを表現させていきたい。そしてこの単元を通して、国際社会に貢献できる人間力を向上させていきたい。

言語材料は、現在完了形(経験, 完了・結果)である。これらの文法事項を学ぶことにより、自分の経験についてより詳しく伝えることができ、コミュニケーションを図る上での話題提供の幅が広がることで表現能力の向上が期待できる。また、題材としては生徒の身近な話題となる友達の楽しかった経験を取り上げる。楽しかった経験は誰もが進んで積極的に話すことのできる話題であるため、生徒一人一人が進んで参加することが期待できる。

(2) 生徒の実態(男 18 名, 女 16 名, 計 34 名)

本学級の生徒は、全体的に英語学習に対して意欲的で、学習課題に沿って積極的に活動する生徒が多く見られる。聞いたり、読んだりする活動や練習問題などに取り組む姿はとても熱心であり、自分の意見を発表することについては積極的である。しかし、友達の考えを聞いて自分の意見に生かしたり、合意形成を図ることに対して苦手意識を持っている生徒も見受けられる。

本単元では、友達へのインタビュー場面を通して、「相手の意見を理解し、伝える」という表現活動が中心とため、生徒一人一人が情報を正しく理解し表現することで、判断力・表現力を高めることができるよう指導していきたい。

(3) 研究主題に迫るための手立て

本校の研修主題「9年間を見通した竹園での授業作りの工夫～思考力, 判断力, 表現力の向上を目指した言語活動を通して～」に迫るために、本時の学習では、生徒の身近な話題を取り上げ、インタビュー活動を取り入れたコミュニケーション活動を行う。中学3年間で身に付けた学習内容を統合的に活用することができるようにし、「自分で書いたレポートを発表する」活動を通して、表現力を伸ばし自信を持たせることにより今後の学習意欲につなげていきたい。

また、グループ内で発表をさせることで緊張の度合いを低くし、声の大きさやアイコンタクトなど全体の発表ではなかなか難しい点にも挑戦するよう促していきたい。さらに、スピーチを聞く側も近くで聞くことにより、より理解を深めることができる。

このような活動を通して、英語活用能力の向上を目指す。また、同世代の外国人と交流できる環境に遭遇した際に、積極的にコミュニケーションを図ることができる運用能力を育成し、国際社会に貢献できる人間力を育んでいきたい。

4 指導と評価の計画 (6時間扱い)

次	時間	学習活動と内容	関	表	理	知	評価規準 (方法)
一	1	現在完了形(経験)を用いた文の構造を理解し、それを用いて対話活動をする。	○		○	◎	現在完了形(経験)を理解し、簡単なやり取りをペアで行うことができる。(観察)
二	② 本時 3	現在完了形(経験)を用いて友達と対話活動し、発表する。		◎	○		現在完了形(経験)を用いて、身近なことを自己表現することができる。(ペア活動観察・ワークシート)
三	4	現在完了形(完了・結果)を用いた文の構造を理解し、それを用いて対話活動をする。	○		○	◎	現在完了形(完了・結果)を理解し、簡単なやり取りをペアで行うことができる。(観察)
	5	現在完了形(完了・結果)を用いた対話文を読み、内容を理解する。			◎	○	現在完了形(完了・結果)を用いた文章を読んで正しく理解することができる。(観察・ワークシート)
四	6	ガーナの少女リータからの手紙を読み、内容を理解する。			◎	○	不定詞の原因を表す副詞的用法を用いた手紙を読んで正しく理解することができる。(観察・ワークシート)

5 本時の指導

(1) 目標 友達の今までで一番楽しかった経験をインタビューし、聞き手にわかりやすく発表することができる。

(2) 展開

☆竹園で目指す生徒を育むための留意点

学習活動及び内容	指導上の留意点・評価	
	T 1	T 2 (AET)
<p>1 ウォーミングアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Criss cross 例)How long have you lived in Tsukuba? How long have you studied English? <p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <p>(1)本時の活動のねらいを理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>What's your friend's 'good experience'?</p> </div> <p>(2)活動内容を確認する。</p> <p>3 活動の流れをつかむことができるよう教師のデモンストレーションを行う。</p> <p>例)Q: What have you experienced? A: I've been to Australia. This is my good experience. Q: How many times have you been there? A: I've been there for three times.</p> <p><留意点> グループ内での発表についてデモンストレーションを行う際に、生徒にどんなことについて気をつけてスピーチをすべきなのか質問を提示し、どのような点を評価す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・AET の質問内容を理解できない生徒へ支援をするため、まずは積極的な挙手を促す。 ・活動のねらいと評価の項目について知らせ、目的意識をもった活動にする。 ・活動を円滑に進めることができるようにシートを用意する。 ・活動の進め方をつかむことができるように教師がデモンストレーションを行う。 ・シートの使い方もデモンストレーションとして取り入れる。 <p><留意点> 活動を円滑に進めるために、実際のシートの使い方も合せて確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形を使う場面を意識させるために、既習事項である現在完了形(継続)をまじえながら発問する。 ・'good experience'とは何か理解させるために例を英語で紹介する。 ・シートにある活動内容を英語で読み上げ活動順序を明確にする。 ・T1 のデモンストレーションに積極的に協力し、生徒が進んで活動に参加することができるよう、より具体的な例を用いる。 ・生徒から挙げられた評価規準をもとに良い発表例と悪い発表例を見せ、どのように発表したらよいかを明確にする。 <p>例) アイコンタクト 良：原稿はあまり見ずに聞いている生徒全員の目を</p>

<p>べきなのかを明確にする。 例) アイコンタクトに注意する 声量は十分であるか</p> <p>4 ペアを作り、友達にどんな質問をしたらよいか考える。 <友達の'good experience'について> ・どんな経験か ・いつ、誰と、など詳細は明確であるか</p> <p>5 ペアの友達に質問をし、インタビュー活動を行う。</p> <p>6 インタビューの結果をまとめ、発表原稿の作成を行う。 <留意点> 難しい単語などは使わず、自分の単語力の中で書かせるようにする。</p> <p>7 インタビューした内容をグループで発表する。 <留意点～発表者～> ①笑顔で話せているか ②アイコンタクトはとれているか ③十分な声量で話せているか <留意点～発表者以外～> ①発表者を見て聞き取れているか ②正しい相づちは打っているか ③内容を理解し質問や感想は述べられているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ発表において、どのような点に気をつけて発表すべきか質問をし、評価規準を明確にする。 ・どんな内容の質問をしたらよいか明確な記入箇所を用意する。 ・生徒の活動を観察し、つまずいているペアには助言する。 例) 聞きたい情報に対しての質問の仕方 ・インタビューした内容を書き込むためのシートを用意する。 <留意点> 発表原稿作成にスムーズに入れるようなシートとする。 ・生徒の様子を観察し、英語を苦手とする生徒で、友達から聞いた内容を文章化するのが難しい場合は、テンプレートを配る。 <p>☆聞き手にわかりやすく、はっきりと発表ができ、友達の発表を聞いて内容をまとめることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表をきちんと聞くことができるように、内容メモを書き込むシートを準備し、発表の内容についてコメントを書かせる。 ・発表者以外の生徒は、内容について感想や質問を最低1回発言するようにする。(感想の例や質問事項の例は提示する。) 	<p>見て話す。 悪：原稿を顔の前で持ち、聞いている生徒の顔を全く見ずに話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい英文が書かれているか観察し、つまずいているペアにアドバイスをする。 例) 現在完了形で用いる過去分詞(特に不規則変化するもの)は適切な形をしているか。 ・正しい英文で質問できているか観察し、答え方につまずいているペアにはアドバイスをする。 例) I have experienced・・・ ・生徒の様子を観察し、英語を苦手とする生徒に対して、積極的にアドバイスをする。 例) 適切な代名詞(he, his など)は使えているか。 ・各グループの活動に積極的に加わり、発表者に質問や感想を伝え、質問の仕方や感想の伝え方のモデルとなる。 ・発表者に現在完了形を使った質問や感想を伝えることで、現在完了形の活用の仕方を確認する。 例) I have been there, too. How many times have you been there?
<p>8 授業の振り返りと自己評価を行う。</p>	<p>④ インタビュー内容をまとめ、聞き手にわかりやすく発表することができたか。(観察・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの評価欄に本時の学習活動の自己評価を記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表までの活動に対しての感想を述べる。